

にも通信

令和8年度 第19号
令和8年5月吉日

にも
包括

精神障がいの有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、包括的なシステムを構築していく取り組み

発行：相模原市精神保健福祉課

～今年度の「にも通信」～

令和7年度は地域移行支援ピアサポーターの活動報告や「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連絡会議」通称「協議の場」についてお伝えしました。今年度も引き続き、「協議の場」の報告を中心に、にも包括の取り組みについてお伝えしていきます！今回は、令和8年3月に開催した「協議の場」について報告します。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連絡会議 通称「協議の場」

令和8年3月4日（水）ウェルネスさがみはらにて、令和7年度第2回目の協議の場を開催しました。前半は、令和7年度地域移行支援ピアサポーターによる病院訪問の活報告及び令和8年度に向けた国、市の動向について説明、後半はグループワークを行いました。

相模原市における「にも包括」の取組



グループワークでは「地域で生活し続けるために大切なこと」をテーマに、令和6年～7年度の協議の場で作られた意見を基に、「現在できていると思われること」「不足している・あるといいなどと思われること」について意見を出し合い、各グループが考える取り組むとよい項目を3つ出しました。

グループワーク

みんなの声

「こんなのがあったらいいな」

これまでグループワークは異職種混合で構成していましたが、より深く意見交換ができるのでは、との思いから、同職種でグループを構成しました。当日の発表では、各グループごと、1つの項目しか伝えられなかったため、この「にも通信」の場を借りて、各グループの意見を一部ご紹介します。

- ・グループホームにお試し外泊し、地域生活でどのような支援が必要か話し合えるとよい
- ・入院している方の権利に関することとして、銀行の出向サービス等あるとよい
- ・他病院の相談員との交換研修

- ・丁寧な支援につなげるために、病院の相談員と訪問看護との交流の場
- ・精神障がいに特化した訪問看護事業所間の連携
- ・若い人や発達の特性に合わせた居場所

- ・精神障がいに関する制度や支援等の情報が分かりやすく整理されるとよい。また、自分から情報にアクセスするのが難しい人がアクセスしやすい仕組みがあるとよい
- ・支援者向け研修会の講師として、当事者の活躍の場があるとよい

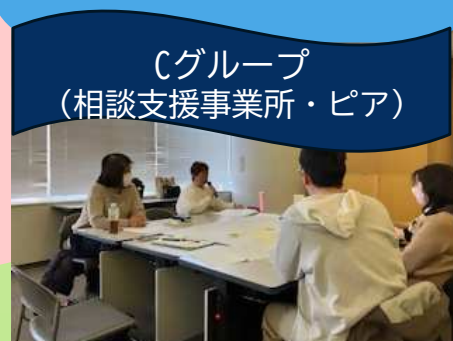
Aグループ
(医療機関)



Bグループ
(訪問看護)



Cグループ
(相談支援事業所・ピア)



- ・クライシスプランを作る教室（使い方も含めて）
- ・セルフケアができるようになるために、運動教室や料理教室の開催
- ・ピアサポーター活動を知ってもらうための普及啓発

Dグループ (相談支援事業所・ピア・家族)



- ・障害福祉サービスのような利用契約をせずつとも、気軽に利用できる居場所
- ・本人の受診が難しい場合でも訪問看護につなげられるような、医療へのつなぎの支援
- ・当事者、支援者、地域住民が一体となって過ごせる地域の居場所

Eグループ (行政・キーステーションⅠ)



- ・支援機関、民生委員も含めアウトリーチする機関が複数あるとよい
- ・市内の精神保健福祉の分野以外の分野も含めた市内連携や職員向けの研修会があるとよい
- ・必要な時に入院ができて、地域への退院もスムーズになる仕組み

Fグループ (行政・キーステーションⅡ)



意見やアンケートより

- ・サービスそのものを量的に増やすことを望む声より、アウトリーチの必要性や支援者同士の繋がり、のりしろをもった繋がりを求められていました。
- ・タイムリーに制度や福祉等の情報をキャッチできる仕組みや、福祉サービスを前提としない身近な交流の場を求められていました。

～今後、これらについて考えていけるといいですね～

地域移行支援ピアサポーター (詳細はVol. 17参照)

令和8年1月7日に今年度3回目となる病院訪問で相模湖病院に伺いました。

前回まではグループでの話し合いでしたが、今回は入院者1名に対して2名での対談を行いました。

これまでの病院訪問で行っていたグループでの雰囲気とは異なり、ピアサポーターも緊張や戸惑いが見受けられましたが、集団よりも話を深めることができ、入院者は「話を聞いてくれた」という体験ができ、入院者の満足度は高いものになりました。

事前の
打合せ
場面



ピアサポーターが駆け付けます！
受け入れ病院随時募集中！！

心のサポーター養成研修

令和8年2月12日に緑区合同庁舎で開催し46名の方が参加しました。

講義と参加者同士のグループワークにより、メンタルヘルスやこころの病気に関する正しい知識、身近な人への関わり方について学びました。

来年度も開催を予定しています。詳細が決まり次第市のホームページ等に掲載しますので、ぜひお申し込みください！



入院者訪問支援事業が令和8年度から始まります！

精神科病院の市長同意による医療保護入院者の希望に応じ、生活一般の相談や本人の体験・気持ちを丁寧に聴き、必要な情報提供を行うことを目的としています。研修を修了した訪問支援員（2名体制）が病院に訪問し、お話を丁寧に伺いします。



にも包括は支援機関の皆さまや地域の人たちとともに創り上げていくものです。

事務局では、地域で取り組んでいる活動や耳より情報、好事例などを広く募集しています。

電話でもメールでも構いません。ご意見・ご感想も含めてお待ちしております!!

<精神保健福祉課> ☎ 042-769-9813 ✉ seishinhoken@city.sagamihara.kanagawa.jp

